

た か し



ドキドキ わくわくする探究活動を目指して ～自分で選び・自分で決める～

研究主幹 島田 美由紀

先日の運動会には、多くの保護者の皆様・地域の皆様にご参観いただき、まことにありがとうございました。日々変化する季節を感じながら、子供たちが練習を重ね、頑張る姿を観ていただくことができました。

さて、本校では生活科・総合的な学習の時間で「探究的な活動に主体的・協働的に取り組む児童の育成」を研究テーマに校内研究を行っています。特に、総合的な学習の時間では、児童の「こうしたい」という思いを引き出し、学習につなげています。また学習の最後には、「どうしたい？」という問いかけを行い、より主体的に興味をもって学習に取り組むことができるよう、全校で取り組んでいます。

総合的な学習の時間の中で大切なことは「探究の時間」であるということです。一人一人が課題を見つけ、その課題を解決するためにどうしたらいいか、様々な体験活動や物事との出会いを通して、「これはどういうことだろう？」「こんなものがあつたらいいのに、そのためにはどうしたらいいだろうか？」と自分なりの考えや思いを元に学習を進めていきます。しかし、自分だけでは学習が深まりません。そのために必要なものが「協働的な学び」です。学級またはグループなどで友達の考えや思いを聞くことで、より自分の考えが深まり、共に探究していく中で様々な気づきや発見を繰り返し、課題解決に向けて学びを深めることができます。子供たちの「もっと知りたい、もっと調べたい」という思いを引き出し、好きなことや興味があることを元に、主体的・協働的な学習活動ができるように、より校内研究を進めていきます。

令和7年度 全国学力・学習状況調査(6年生が実施)の結果について *4月に実施

	平均正答数 国語	平均正答数 算数	平均正答数 理科
本 校	10.5 / 14	11.8 / 16	11.0 / 17
東京都(公立)	9.8 / 14	10.2 / 16	10.1 / 17
全国(公立)	9.4 / 14	9.3 / 16	9.7 / 17

国語は全国平均より8.2ポイント高く、特に「我が国の言語文化に関する事項」で高い理解度が見られました。「読むこと」の領域でも全国平均を大きく上回っています。算数では、全国平均より16ポイント高く、「分数の加法」「図形の面積」など、思考力を要する問題や記述式問題でも全国平均を上回りました。理科では、「地球」領域で非常に高い正答率で、「電磁石」「水の状態変化」などの単元でも理解が高い様子が見られました。一方で、記述式問題では全教科でやや正答率が低めでした。今後、表現力や論理的思考を育む活動を充実させていきます。

本調査結果は、児童の学力の現状を把握し、今後の指導改善に活かすためのものです。ご家庭でも、日常の中で「考える力」「伝える力」を育む声かけをお願いいたします。ぜひ日頃興味関心がある出来事などについて、会話を通して考える機会があると、子供たちの力になります。学校でも、引き続き取り組んでいます。

児童意識調査からも、本校の児童は自己肯定感・学習意欲・ICT活用・探究的な姿勢において、全国平均を上回る傾向が見られました。引き続き、地域の皆様、保護者の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、学習活動を行っています。どうぞよろしくお願いいたします。